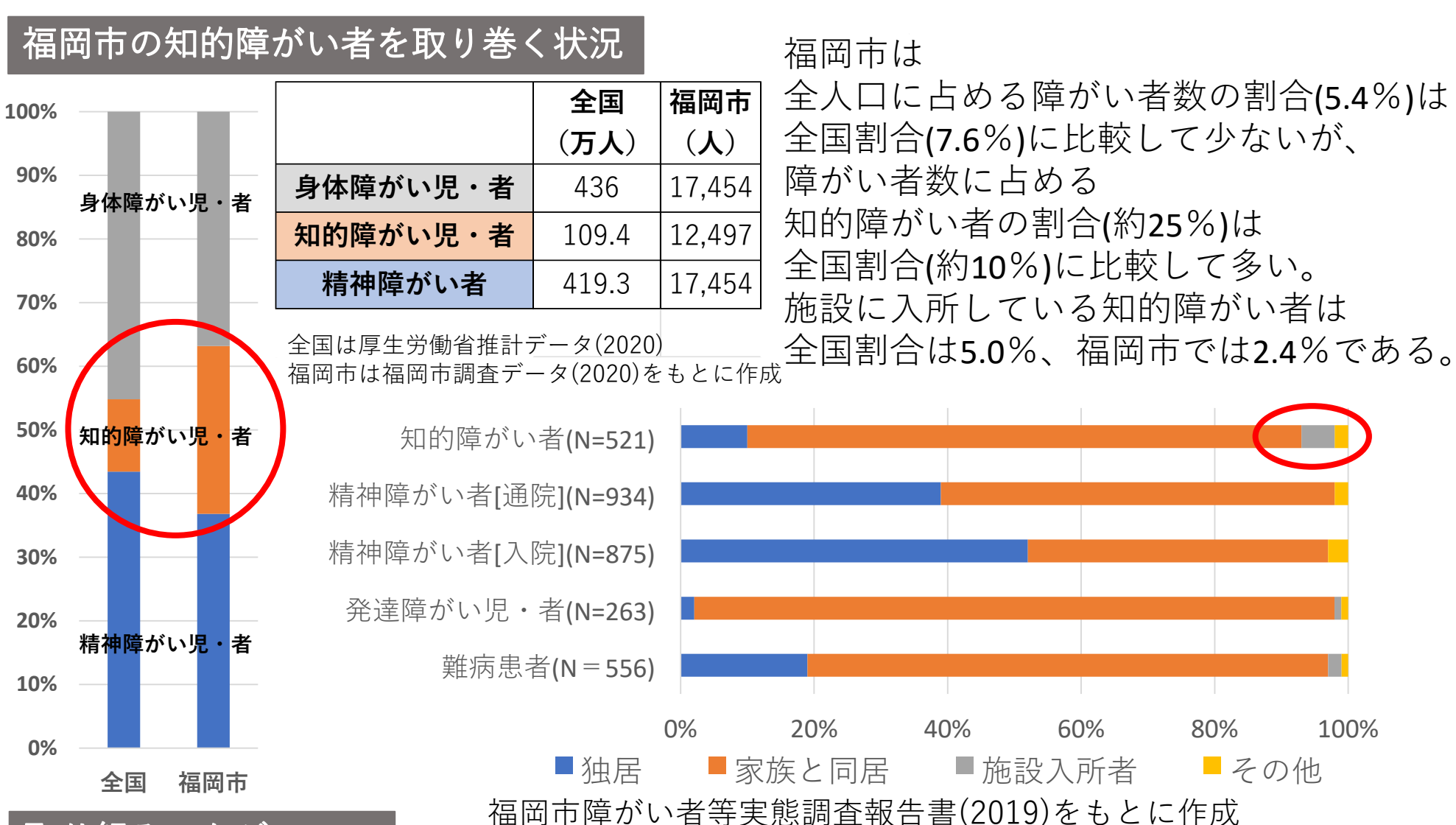


学生のアイデアを障がい者グループホーム実現に活かす

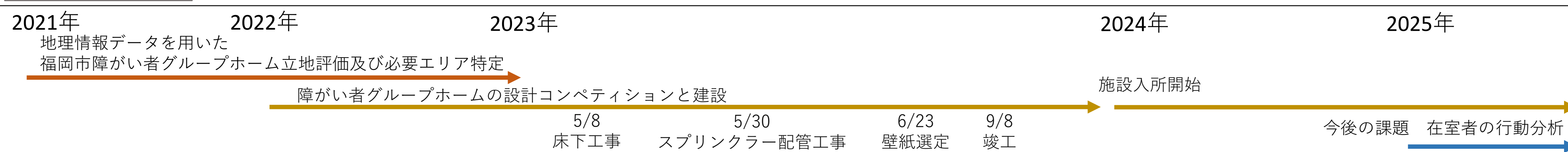
九州産業大学建築都市工学部 住居・インテリア学科
居住環境デザインスタジオ 香川治美研究室
22UH062 森陽菜 23UH054 前川佳人



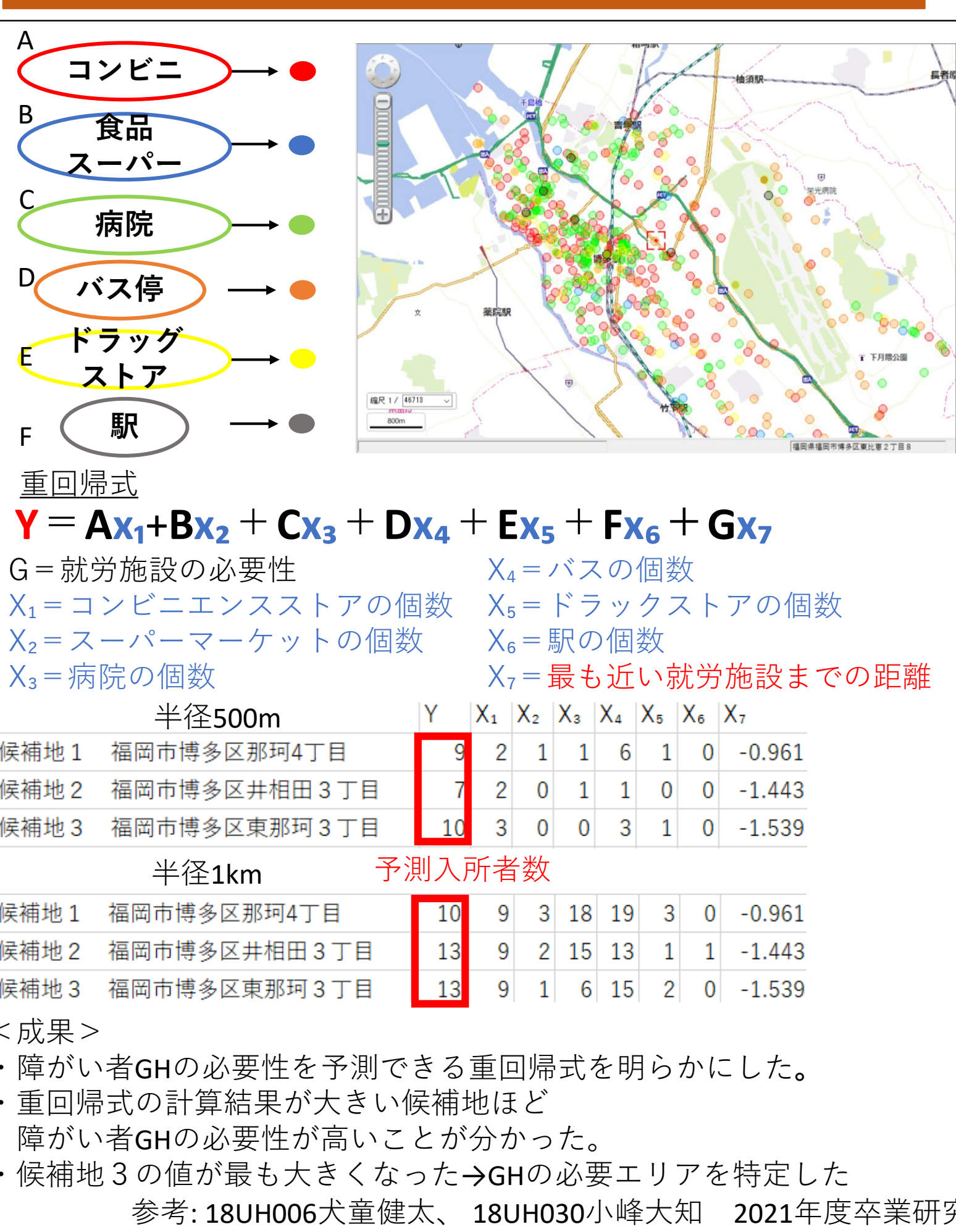
研究目的
「福祉のまちづくり事業」のために、大学と総合建設・福祉会社が連携して取り組み、学生のアイデアを障がい者グループホームの実現に活かした。それを概観し今後の課題を抽出する。



取り組みスケジュール



地理情報データを用いた障がい者グループホームの必要エリア特定



地理情報データを用いた福岡市障がい者グループホームの立地評価及び必要エリア特定



「Walk in home」と「Twinmotion」を用いた障がい者グループホームの設計コンペティションと建設



完成披露



今後の課題

2021年以降取り組んできたが、その妥当性を検証する必要がある。今後の課題は、障がい者グループホームの室内環境で特に共用スペースにおいて、施設利用者が安全かつ快適に生活できているのか明らかにすることである。



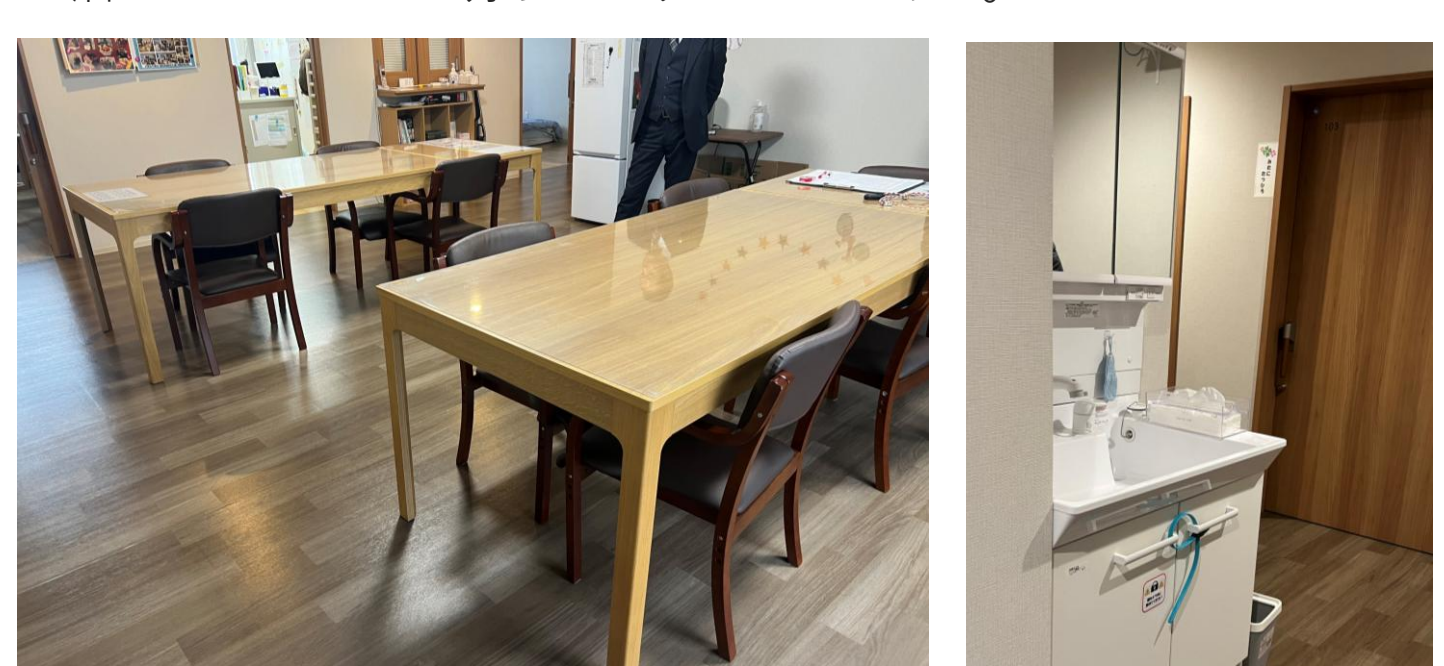
共用スペースパース



壁紙選定 (2023/6/23)



学生こだわりの階段室の壁紙



障がい者グループホームの共用スペース (2025/1/16)